

1 事業報告（平成28年度 平成28年4月1日～平成29年3月31日）

1. 人材の養成に関する育英事業(公益目的事業1)

- (1) 平成28年度の新規貸費生は17名（貸費月額は、4万円が12名、2万5千円が5名、継続して大学院に進学した1名を含む）、継続者を含めた貸費生の人数は76名、貸費金の合計は金30,900,000円でした。また、受入返金額は、金30,321,000円で期末の貸費学資金の残高は、金199,176,000円（前年度末日比579,000円増）となりました。
- (2) 故・風間若葉氏の遺贈を受け、育英に役立てることとの遺志を尊重し、若葉奨学基金として給付型の制度を新設しました。募集、応募者の面接、選考委員会を経て2名の給付生を内定いたしました。

2. 文化財の維持・管理および公開事業(公益目的事業2)

- (1) 平成28年度の「丙申堂」と「無量光苑釈迦堂」の入場者数は、両堂合計で21,382名（うち丙申堂12,225名、釈迦堂9,157名、前年比4,184名減）となりました。今年度は、釈迦堂ティーハウスのオープンや創建120周年記念の企画を数多く実施するなど話題は多くありましたが、残念ながら集客にはつながりませんでした。
- (2) 「釈迦堂ティーハウス」は4月15日に竣工式、内覧会を行いました。オープン以来、釈迦堂を訪れたお客様が、ゆっくりと庭園を眺めながらお茶を飲んだり、会話を交わしたりする姿が見られました。今後も庭園内の休憩場所として定着していくようにいたします。
- (3) 創建120周年記念の企画や講演会、関連イベントなどは次の通り。
 - 4月16日（土）「イザベラ・バード朗読会 in庄内・丙申堂」
 - 5月14日（土）～31日（火）「『麦の穂』キルト展」
 - 6月12日（日）「黒土三男講演会」
 - 7月16日（土）「アートキャンパス2016 オープニングトーク」
 - 7月23日（土）「 〃 舞踏劇」
 - 8月28日（日）「 〃 妖怪画と怪談噺の夕べ」
 - 9月3日（土）「 〃 東雅夫(ひがしまさお)講演会」
 - 9月4日（日）「海づくりアート鶴岡」
 - 10月8日（土）「十三夜を読む～樋口一葉と藤沢周平～」
 - 11月7日（月）「KS DUO 紅葉狩りツアー2016」
 - 11月13日（日）「アートキャンパス2016 若手芸術家が語るアートの未来」
 - 11月19日（土）「 〃 クロージングトーク」

3. 山林を活用した地球環境保全事業(公益目的事業3)

(1) 藤沢の山林で開催している森林体験学習会について

春：4月24日(日)、子ども12名、大人7名、合計19名が参加。

スタッフは森林インストラクター2名、本の読み聞かせの方が1名など顔ぶれが増えて総勢11名。天候にも恵まれ、解説のレベルも上がり、森の中での絵本の読み聞かせが新鮮な体験になるなど、盛り沢山な内容となった。

秋：11月3日(木)、文化の日の祝日は大荒れの雷雨となった。参加者は子ども7名、大人6名の計13名。スタッフ11名。悪天候につき森へは行かず、雨天用プログラムに。丙申堂に集合し、森の仕事や、森の木や葉や種の話など。丙申堂を見学した後、山王町のみちくさ舎に移動して間伐材を利用した椅子づくり。おにぎりとなめこ汁の昼食。そのあとに森の絵本の時間があった、午後1時ごろに解散した。

(2) 山林の整備事業については、今年度も下刈、枝打、つる切、除伐、植付等に努めました。

4. 土地、建物の貸与事業(収益事業)

(1) 基本財産の土地、建物を(株)庄交コーポレーション外に、また特定資産の駐車場を賃貸し、さらに運用財産の土地、建物を鶴岡市(地域包括センター)に貸与しました。今年度の売上は42,303,132円となりました。

(2) 日本仏教史研究講座、特に聖徳太子講座開設等の運用資金として、公益財団法人中村元東方研究会東方学院へ、昨年同様40万円の寄付をしました。

また、日本仏教研究の為、東京大学文学部印度哲学仏教学研究室に対し例年同様50万円の寄付をしました。

以 上